



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第4号

R3.4.30

文責 中西 勉



“自分から”

「道ですれ違うときに、進んであいさつをしてくれる子が多くてうれしかったです。」

これは、4月27日（火）に行われたある会議で、最近の男川っ子の様子について地域の方が語られた率直なお言葉です。このお言葉を聞いて、私たち職員は本当にうれしくなりました。

4月6日（火）の始業式で、私は2～6年生の児童に向けて、「今年は、男川っ子の皆さんに、“自分から”ということを目指してほしいと思います。“自分からあいさつをする”、“自分から運動や勉強をする”など、自分から進んで物事に取り組みましょう」という話をしました。この一言が、男川っ子の心にどれくらい響いたのかは、すぐにはわかりませんでした。

しかし、その後、毎朝、正門や西門で子供たちに「おはようございます！」と声を掛けていると、少しずつではありますが、昨年度よりも子供たちのあいさつが、より多く、より大きく、より元気にできるようになってきていると感じるようになりました。そんな中、冒頭で紹介させていただいたお言葉に触れ、男川っ子が“自分から”を実行しようと頑張っていることを確信することができました。

4月27日（火）に、「1年生を迎える会」を校内放送で行いました。6年生の代表委員が中心となってこの会を企画・運営しましたが、その代表委員の動きは正に“自分から”を象徴するものでした。また、1年生に向けて、学校での過ごし方をクイズ形式で出題する場面がありましたが、その説明の中で、代表委員が「“自分から”あいさつをしましょう」と呼び掛けていました。最高学年である6年生が、積極的に“自分から”を率先垂範する姿を見て、男川っ子の今後が大いに楽しみにになりました。

私は、同じことをするにしても、「“自分から”する」と「言われてからする」とでは、その成果や学びに大きな差が生まれると考えています。ご家庭でも、お子さんが“自分から”進んで勉強をしたり、お手伝いをしたりするなど、自分で考えて自ら行動した際には、大いに褒めてあげてください。そうすれば、お子さんは自信を持ち、きっとその次も“自分から”行動を起こすようになるでしょう。

☆☆☆☆☆☆ 男川っ子の輝き ☆☆☆☆☆☆

【4月24日】分散で実施した授業参観



よい姿勢で先生の話をお聴きする1年生

【4月27日】1年生を迎える会



タブレットを使って学ぶ4年生



1年生の教室から生中継